



『尊い経験』

部活動の夏の大会が終盤を迎えます。特に3年生にとっては、中学校最後の公式戦。見事、ブロック大会を勝ち抜き、都大会や多摩大会に大会への出場を果たした部もあります。一方、残念ながら、最後の公式戦を終えた部もあります。全国大会で優勝しない限り、誰もがどこかで必ず負け、部活動を終えることとなります。最後まで勝ち抜く人は、ほんの一握りです。

目標に向かって取り組む中では、思うような結果が出ることもあれば、そうではないこともあります。練習や公式戦を通して、喜びや楽しさ、くやしき、後悔、感謝・・・など、授業だけでは味わえないさまざまなことを経験できることこそ、部活動の価値なのだと思います。毎試合、湧き上がってくる想いや仲間がいることの大切さに触れている皆さんの姿を見て、本当に素敵だと思います。

部活動や地域での活動を通して得た一人ひとりの経験は、必ず今後の人生においてプラスになると確信しています。中学校最後の公式戦を終えた3年生のみなさん、ここまで本当によく頑張りました。頑張ってきた成果はこれから先の人生で発揮されることでしょう。目標に向かって仲間と支え合って頑張った経験は尊いものです。それは、部活動等に限らず、運動会などの学校行事等、学校生活でやり遂げたいろいろなことに通じる部分があります。

また、大会には、多くの保護者の方や家族の方が応援に来てくださっていました。あと1点を取れば、ここを守り切れれば・・・。そんな皆さんの頑張る姿を見つめながら、手を組んで願っている保護者の方の姿や終わったあとの涙・・・。どれだけみなさんのことを思っていたか改めて感じ、胸が熱くなりました。

『物事は変化があるからこそ楽しく、終わりがあるからこそ美しい』

元Jリーガー中村憲剛さんの奥様が、お子さんに中村さんの現役引退を伝える際に渡した手紙に書かれていた言葉だそうです。

これから大会やコンクールを控えているみなさん、部活動等を通してさまざまな経験ができることへの喜びを胸に、最後まで頑張り抜いてください。五中のみんなが応援しています。

今月の展示
(7月)



吹き流し



短冊